

コンテンツ名：障害に配慮した衣服

担当者名：セイノ カイ

障害福祉研究部の清野です。

ここでは、障害に配慮した衣服について紹介します。

はじめに、身体障害のある人には、体型の変化や運動機能の低下があり、障害に配慮した衣服が必要です。また、社会参加の意欲とも関連するので着たい衣服を着ることが大切です。そのようななか、当センターでは、障害のある人のニーズや好みに合った衣服の作成や、衣服の課題を知ってもらい、着たい服がどこでも入手できる環境の実現を目指して、病院や研究所、外部の協力者と連携して「コクリハコレクション」という取組を行っています。今回はその取組の中で試作した衣服について紹介します。

コクリハコレクションの作品の一部を紹介します。

障害に配慮した衣服

- 1、車いす使用者のためのレインコート
- 2、車椅子使用者のためのジーンズの改良

おしゃれに関心のある人と協力して、その方々の障害に配慮した衣服を試作しました。

ひとつめは、車いす使用者のためのレインコートです。

これは、手動車椅子を使用している人のためのレインコートです。

土砂降りの雨のなかでも、出かける必要のある人の希望で作成しました。

生地は、ご本人の希望をふまえ、耐水性があるテントの生地を使用しました。

工夫として、前が見えやすいように、顔の部分を透明のビニール製にしたり、すそが車輪にからまないように調整したりしています。

ふたつめは、車椅子使用者のためのジーンズの改良です。

これはニョウブクロを付けて、車椅子を使用している人のためのジーンズです。希望は、デニム生地のズボンをはきたい。じょくそうを繰り返しているので、おしりにやさしいジーンズが欲しい、でした。

工夫として、お尻の部分をじょくそうができにくい、やわらかい生地に変えています。

また、ハイニョウするための管を通せるように、ファスナーをマジックテープに変えています。

また、車椅子にのったときに、床と並行になり、きれいにみえるように、裾のカットを調整しています。

なお、ここで紹介した衣服などは、試作品であり、販売はしていません。

ご覧いただき、ありがとうございました。